（様式１）

県立水戸第二高等学校【総合的な探究の時間の全体計画】（令和７年度）

総合的な探究の時間の第１の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。

(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

民主的な国家及び社会の形成者としてふさわしい資質・能力を身に付け、社会の中核を担い活躍する、心豊かな人間の育成。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

道徳的価値及びそれに基づいた人間としての在り方・生き方に関する自覚を深め道徳性を高めるとともに、探究の見方・考え方を働かせ、人物や環境問題等の社会的課題、興味関心の高い事柄に関する探究学習を行うことを通して、自己の在り方を考えながら、よりよく課題を発見し、解決していくための資質・能力を育成する。

(1) 人物、環境問題等の社会的課題、興味関心の高い事柄に関する探究を通して、自己や社会の課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。(知識及び技能)

(2) 人物や環境問題等の社会的課題、興味関心の高い事柄と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)

(3) 探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、自己の進路を主体的に選択する資質能力を育成するとともに、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら積極的に社会に参画しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

総合的な探究の時間の学習評価

・個人内評価（人間としての在り方・生き方等）。

・パワーポイントやポスターによるグループ発表におけるグループ内評価またはクラス発表でのクラス内評価。

・ポスターセッションによる校内発表での校内評価。

・レポート等を用いた主体的活動の実践の総合評価。

生徒の実態

素直な生徒が多く、卒業後は大学進学、特に国公立大学を目指す生徒が多い。また、積極的に海外研修などに参加し国際的視野を広げようとする生徒がいる一方で、実質的に女子校という環境から、内向き思考に陥りやすい傾向も否めない。

生徒の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする生徒への指導

・テーマは今後の探究の見通しを立てながら設定するようアドバイスする。

目指す生徒の姿

・叡智：優れた知恵を獲得し、物事の真実や真理を探究する。

・仁愛：情け深い心で様々な人たちと互いに尊重し合って交流する。

・創造：豊かな発想をもち、これまでにない新たなものをつくる。

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力

１学年

人間としての在り方・生き方と関連性のある社会的課題等の探究

（１） 人間としての在り方・生き方と自分との関わり、また、自己の在り方、生き方に目を向けて関連性のある課題を見出す。

（２） テーマを設定し、目的に応じた手段で情報を収集する。適切な方法で情報を蓄積し、分析し取捨選択する。収集した情報をもとに、自らの考えを論理的に表現する。

（３） 目標を持って問題の解決に向け、主体的に探究活動に取り組む。探究活動を通して、自己のキャリアや社会問題の解決に取り組む。

２学年

興味関心の高い事柄から問いを見出すことからの班別探究

（１） 興味関心の高い事柄についての課題を、各教科で学んだ内容や教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら見出す。

（２） テーマを設定し、目的に応じた手段で情報を収集する。適切な方法で情報を蓄積し、分析し取捨選択する。収集した情報をもとに、自らの考えを論理的に表現する。

（３） 探究によって発見した課題を自分事として捉え行動し、自ら積極的に社会に参画しようという意識や態度を身に付ける。

3 学年

これまでの学びを形にして自己の進路を主体的に選択

（１） 研究者や社会人の専門分野に関する講演を聞き、科学や社会的課題に対する興味・関心を高めるとともに、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考える。

（２） これまでの探究活動をもとに様々な社会的課題と自己との関わり合いを考え、自己の進路を主体的に選択する意識や態度を身に付ける。

（３） 今までの探究の成果をまとめ、発表することで、研究内容に対する理解をより深めるとともに、自らの研究の意義や価値を理解する。

学習活動、指導方法等

1 学年

・副担任が図書部と連携して指導する。

・探究テキスト（本校オリジナルテキスト「START プログラム」）を活用する。

・人間の在り方・生き方を考えさせるとともに、関連性のある社会的課題など広い範囲の中から興味関心のあるテーマを設定し、探究活動を行う。

・パワーポイントによるクラス内発表、１、２年生全員によるポスターセッションを行い、相互評価を行う。

・必要に応じて資料収集(参照できる資料)の方法、発表時のマナーについて指導する。

2 学年

・全職員で指導する。

・探究テキスト（本校オリジナルテキスト「『探究力』を伸ばす課題研究の進め方」）を活用する。

・興味関心の高い事柄について調べ、そこから問いを見出し、自らが主体的に取り組み、課題解決に向けて探究する。

・パワーポイントやポスターによるクラス内発表またはグループ内発表、１、２年生全員によるポスターセッションを行い、相互評価を行う。

3 学年

・担任、SSH 担当教員、各教科担当が中心となり指導する。

・進路講演会などを通して社会的課題について考え、自らの考えをレポートにまとめる。

・パワーポイントによる発表を行い、相互評価を行う。

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

・学習指導研究委員会(15 名)　総合的な探究の時間の計画、評価の検討、改善を行う。　副校長・教頭・教務部長・教育デザイン部長・各教科主任・学年主任で構成。

・授業担当者会議　1 年(10 名)　2 年(全職員)　３年(9 名)　指導方法、進捗状況、評価についての検討を行う。

1 年　各クラス副担任、図書部、教育デザイン部で構成。　2 年　全職員で構成。　3 年　各クラス担任、教育デザイン部で構成。